

みなこ

吉田 水子 & 金子 忍

めぐるいのちの コンサート

かわ
~いわて川ものがたり~

もりおか町家物語館
浜藤ホール (盛岡市鉦屋町10-8)



Photo by 池田卓哉

2022年

11/5
(土)

2
回
公
演

- ① 開演 14 時 (開場 13 時 30 分)
終演予定 15 時 30 分
- ② 開演 17 時 30 分 (開場 17 時)
終演予定 19 時

コントラバス奏者・吉田水子と作曲家・金子忍の演奏と歌による、命の尊さを歌った心温まる楽曲や、愛唱歌、クラシックなどを中心とした「めぐるいのちのコンサート」と、岩手の自然と歴史を綴った朗読と弾き語りによる「いわて川ものがたり」の2部構成でお贈りするハートフルコンサート。1部、2部とも2022年1月に上演したものは一部内容を変え、「いわて川ものがたり」は完成版をお贈りします。

- 料 金 大人 1,500 円 高校生以下 1,000 円 要予約
各回定員 40 名 未就学児無料

- 出 演 吉田水子 (よしだみなこ) - コントラバス・歌・朗読 ほか -
金子 忍 (かねこしのぶ) - 作曲・編曲・ギター・歌・朗読 ほか -

プログラム

1 部：めぐるいのちのコンサート
2 部：弾き語りと朗読による『いわて川ものがたり』
(合唱と朗読による構成詩「いわて川ものがたり」から)
テキスト：川村光夫 (劇団ぶどう座 (岩手県和賀郡西和賀町) 創立者・主宰者)
作 曲：岡田和夫
編曲・構成：金子 忍 演出：吉田水子

- 主 催 めぐるいのちのコンサート (いわて川ものがたり) 上演プロジェクト
(事務局：岩手県盛岡市神明町 1-24 工房 夢繭*花 内)

- 特別協力 劇団ぶどう座、喫茶 GEN・KI (岩山展望台下)、コワーキングスペース瀬織津姫

- 協 力 工房 夢繭*花、スタジオ ククリ

- 後 援 岩手県、岩手県教育委員会、西和賀町、西和賀町教育委員会、岩手日報社、IBC 岩手放送、盛岡タイムス社、テレビ岩手、エフエム岩手、岩手朝日テレビ、めんこいテレビ、えふえむ花巻、くもん式仙北教室・不動教室

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、30分ごとに換気をいたします。休憩はありません。/当日はマスク着用のうえ、熱がある方や体調がすぐれない方は無理をなさらずご来場をお控えくださいますようお願いいたします。また、当日はグループ代表の方のご連絡先のご記入にご協力ください。/感染拡大が著しく、会場地域での緊急事態宣言等が発出され、日程の変更や中止が余儀なくされた場合は払い戻しいたします。ご来場前に最新情報をご確認ください。

お問い合わせ
ご予約

チケットのご予約は公演ホームページから
<https://meguru-iwatekawa.jimdofree.com/>



TEL: 080-3478-1566 (吉田)
090-6313-2818 (金子)

Mail: minaco@cotori.jp

プレイガイド

- ・ 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター 風のスタジオ (盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階)
- ・ もりおか町家物語館 (盛岡市鉦屋町 10-8)

本事業は盛岡市 (新型コロナウイルス感染症) 芸術文化創造事業補助金を活用しています

開催にあたって

今年一月、浜藤ホールにて「めぐるいのちのコンサート〜いわて川ものがたり〜」を上演してから一年も経たないうちに同じ会場で再演できる運びとなりとてもうれしいです。応援して下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

再演といっても、前回とはだいぶ内容が変わります。

「めぐるいのちのコンサート」は、いのちと愛・平和をテーマに、その時どきの世相を受けた想いに合わせて選曲し、お話を交えて行うコンサートです。この半年の大きな世の中の変化を受けて、前回とは大きく異なった選曲となります。

「いわて川ものがたり」は、朗読とピアノ伴奏＋四部合唱で構成された合唱組曲を、共演の金子忍さんがギターとコントラバス伴奏、二人での弾き語りの形に編曲して演奏しております。一月の公演では、作品全体の2/3程度の完成でしたが、今回はその後編曲した残りの曲と語りを合わせた完成版をついに全編上演します。前回までに上演した、岩手県内を流れる川の歴史と、百姓一揆、藤原三代の栄枯盛衰、アテルイ・モレの悲劇に加え、さらに戦後のダム建設と湖底に沈んだ村の歴史、そして東日本大震災へと繋がっていきます。

この間、私たちは、作品背景を深めるために、作品内に登場する花巻、西和賀、遠野などを取材で訪れました。そこには歴史の中に消えていった名もなき人々の苦しみや悲しみ、そして世の不条理の痕跡が存在していました。

「いのち」はかけがえのないものです。

遙かなる太古から引き継がれてきた「いのち」のバトンを引き継ぐこと。そして、人々がどの時代に生きようとも「すべてのいのち」を慈しみ合い、共に助け合いながら生きる努力を続けることで世界が「平和」になるということ…。それらを発信し続け、次の世代に手渡すことが、今、私ができることだと考えています。

いのち、愛、平和。この言葉を胸に、今回の公演も全力で取り組んでまいります。

コンサートに彩りを添えてくださるのは、前回から引き続き「いわて川ものがたり」をモチーフに蘭作品を作られた工房夢蘭・花主宰の江見夏恵さんと、「いわて川ものがたり」の地理やイメージをより分かりやすく映像化して下さったスタジオククリの千田真弓さん、そして、照明を担当して下さる心象画家の池田卓哉さん。音楽と、色彩と、美しい光沢を放つ蘭作品と共に、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

吉田 水子

※ 岡田和夫 (おかだかずお)

作曲家。劇団俳優座・劇団前進座・劇団風の子等の演劇音楽を多数手がけた(前進座養成所・劇団風の子付属児童演劇研究所講師も歴任)他、俳優座の千田是也氏の主宰した「プレヒトの会」を通して岩手県湯田町(現・西和賀町)で劇団ぶどう座を主宰されていた川村光夫氏(劇作家・演出家)と交流があり、ぶどう座の演劇音楽の作曲や、「湯田町町民憲章」への作曲、湯田小学校校歌の作曲もしている。

また、第一混声合唱団(東京都三鷹市で活動)を47年にわたって指導し、数多くの合唱曲を残しており、「よだかの星」(テキストは原文通り)、「グスコブドリの伝記」(テキストは劇作家のふじたあさや氏=劇団えるむの劇中歌として作曲)等を合唱曲化した他、「イーハトーブファンタジー」(宮沢賢治へのオマージュ)など、宮沢賢治の詩や言葉をテキストとした合唱曲作品も多い。

「合唱と朗読による構成詩 いわて川ものがたり」について

川村光夫・テキスト/岡田和夫・作曲による、朗読と合唱によって構成された合唱組曲で、岩手県を流れる川と岩手の歴史を、語りと合唱で綴った壮大な作品。岩手の四季の風景と、石川啄木、宮沢賢治、アテルイ・モレと大和朝廷軍の戦い、藤原三代の栄華、遠野物語、南部三閉伊一揆、そして昭和のダム建設、東日本大震災までのエピソードが、川の流れに沿って時代を前後しながら語られており、合唱曲には、宮沢賢治の詩や石川啄木の短歌を歌詞としている曲も複数ある。

作品の初演は1991年。北上市が町村合併する際に記念事業の舞台作品として地元の俳優と女声合唱団によって演奏され、その後、語りと独唱・四部合唱の形に編曲された。第一混声合唱団では1992年に初演され、2006年と2013年に再演。1998年と2014年には湯田町(西和賀町)銀河ホールで公演した。再演の度にテキストと新曲が書き加えられている。(初演と、2014年の銀河ホール公演は、ぶどう座の俳優による朗読)

金子は、1994年から第一混声合唱団メンバーとして参加しており、初演以外は出演している。

2021年3月より、金子が、コントラバスとギター伴奏で二声で歌う形に編曲し、吉田水子と共に岩手でのコンサートで数曲ずつ発表。今回の公演では完全版での上演となる。



よしだ みなこ 歌・コントラバス・ピアノ他・MC
吉田 水子

動物(特に猫)をこよなく愛するコントラバシスト。東京藝術大学音楽学部器楽科・桐朋学園大学音楽学部研究科卒業。「ロバの音楽座」メンバーとして子どものための舞台作品に長く関わる一方、躍動感あふれる伸びやかな演奏と弾き語りでも幅広く活躍する。

2015年、野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭に招聘され、リサイタルも開催し、好評を得る。同年より「吉田水子企画」を主宰し、公演を企画・上演する。(2020年、日本青少年音楽芸能協会に加盟)

2017年、乳幼児と母親父親向け音楽劇作品『おじゃま猫とたまご』を制作。乳幼児からシニアまで幅広い世代から好評を得る。以後『おじゃま猫と小さなともだち』『猫のシビル』『めぐるいのちのコンサート』等の作品を制作。全国の保育園・幼稚園、小学校、児童館、公共ホール、児童福祉施設、高齢者施設、子ども・おやこ劇場、児童青少年舞台芸術フェスティバル等で公演を行っている。

2018年から、俳優・井上弘久氏の“独演『椿の海の記』”(原作・石牟礼道子)の音楽を担当。全11章を3年かけて上演。2021年秋より東京を皮切りに、全国行脚を開始。

吉田水子企画代表。父の実家は、岩手県盛岡市仙北町。

URL: <https://yoshidaminacoplanning.jimdofree.com>



かねこ しのが
金子 忍 歌・ギター・語り(朗読)

作曲家。舞台実演家。東京学芸大学教育学部卒業。作曲・歌唱を故・岡田和夫氏(※)に師事。西澤健一氏にも作曲の手ほどきを受ける。

教職の傍ら劇団風の子付属国際児童演劇研究所に学び、その後、主に演劇と子どものための音楽の作曲家に転身。プロ劇団、市民ミュージカル、アマチュア劇団、中学校演劇部へも楽曲提供や歌唱指導を行い、「ことば」を生かした作曲と生き生きとした表現を引き出す指導が高く評価されている。中学校演劇の大会・講習会講師など、演劇教育に関わる仕事も多い。

児童・青少年からシニアまで幅広い年齢層を対象にしたコンサート・音楽劇に出演。ホーミーにも似た倍音を含む癒やしの歌声と、日本語の「ことば」がしっかり伝わる歌唱に定評がある。吉田とのレパートリー曲はほぼ全ての作曲・編曲を担当。

2017年、第30回かぶらの里童謡祭作曲募集・富岡市議会議長賞受賞。

URL: <https://sinobcat.jimdofree.com>

